



合言葉は「全力」

幸手市立さくら小学校

本校の教育目標は、「ふるさと幸手を愛し志に生きる児童の育成」です。

そこで、ふるさと幸手のよさを知り郷土を愛する心を育むために「さって郷土かるたであそぼう集会」を行いました。児童会活動の時間に、異学年でチームを組み、体育館で全校一斉に挑戦しました。

中でもさくらスマイルの札は大人気で、子供たちは郷土かるたを通して幸手のよさや文化を楽しく知ることができていました。

また、夏季休業中の親子ふれあいスポーツ教室、投げる・走る・跳ぶ運動を行うさわやかタイム、「さくらっ子体操」を取り入れた体育の授業、投力教室やサッカー教室、保健指導、栄養指導等の実践により、子供たちは体力面でも互いに高め合いながら、いきいきと学んでいます。



さくら小学校では、これからも保護者、地域の皆様とともに、地域とともにある学校づくり

に全力で取り組んでまいります。

これから幸手の魅力を「オール幸手」で広めていきましょう！！

さながらに
陣取り合戦春の田は
田植えの水の
引かれ浸みゆく
澤田俊子・緑台一
降るような
小鳥の声に癒やされつ
湯の湖のみに
しばしたたずむ
野口と志子・東五



さかえ小学校ふれあい鑑賞会さくまひできコンサート

1月11日(土) さかえ小学校で行われた「ふれあい鑑賞会さくまひできコンサート」の様子です。

前半は質問タイム。2年生の津久井さんは、「1曲つくるのに何日かかりますか?」と質問。さくまさんは、「今までに何曲作ったと思いますか? 700曲です!」に会場からは驚きの声。「中学2年の時に初めて曲を作りましたが2か月かかりました。今は最短で2時間ぐらいでつくることもあります。」と。そして後半のコンサートでは、「命~2011からのメッセージ」をはじめ、さかえ小のために作詞作曲した「心栄える さかえ小」で会場は大いに盛り上がりました。



出張授業「70年の歴史がある広報紙の役割」

1月15日(水)八代小学校3年生の総合的な学習の時間に、シティプロモーション課職員が講師となり、「幸手市の魅力を広めるための方法」についてお話ししました。

2018年4月にシティプロモーション課ができてから、幸手の歴史や伝統文化などを再確認し、市民のみなさんと一緒に作る広報紙を目指し、ホームページやSNS、スマートフォンアプリとともに幸手じまんを発信していることなどを解説。

これから幸手の魅力を「オール幸手」で広めていきましょう！！

療原短歌会
ラグビーの
ルールは知らねど息を呑む
巨漢・髭面
ぶつかる魄力
小澤六子・中二
風あらし
如月のわが生日は
梅の咲き初む
清しき日とぞ
古賀富美江・中三
直線の
マジックに消す歌ハガキ
取り替へて出づ
極月の街
新井佐和江・戸島
さながらに
陣取り合戦春の田は
田植えの水の
引かれ浸みゆく
澤田俊子・緑台一
降るような
小鳥の声に癒やされつ
湯の湖のみに
しばしたたずむ
野口と志子・東五



冬休み親子クッキング教室

1月7日(火) ウェルス幸手調理実習室で行われた、冬休み親子クッキング教室の様子です。

主催は幸手市食生活改善推進員協議会(榎本会長)。子どものための良い食習慣の普及と親子のコミュニケーションを図ることを目的に、親子で考える食育(ミニ講話)、調理実習を行いました。

「なかなか時間が取れず、一緒に料理をすることができなくて…、せっかくの機会なのでたくさん教えてあげたい!」と話す秋本さん(母)。すると2人のお子さんは「もっと、お母さんの手伝いをしたい!たくさん作れるようになりたい!」と話してくれました。



七草がゆを食べる会

1月7日(火)中央公民館で行われた、七草がゆを食べる会の様子です。

「一年を健康に過ごせるように」という願いを込めて、みなさん手際よく七草がゆを作っています。参加者は「毎年参加しています。こういう機会がないと七草がゆを作らないのでありがたいですね。」と話してくれました。

出来上がった七草がゆを食べると「おいしい!」「温まる!」といった声が聞こえてきました。

若草俳句会
「冬隣・柚子」
柚子の香や
祝の膳の朱のお椀
新井久女・五霞町小福田
冬隣り
庭に据え置く石の黙
柿沼 杏・幸手市中
冬隣
話しの弾む露天風呂
窪田幸代・幸手市香日向
みゆき湖に
佇みおれば冬隣
齋木美山・幸手市北
挟み竹
爺が細工に柚子をもぐ
進藤洋二郎・幸手市緑台
朝一の
水の温みや冬隣
鈴木佐一・久喜市栗橋東
いただきし
手の温もりや柚子一つ
松崎恵子・柏市南逆井

